

ノルトライン・ヴェストファーレン（NRW）州のメッセの概要

2025 年 10 月

在デュッセルドルフ日本国総領事館

経 緯

NRW 州のメッセの歴史は、1360 年にケルン市がハンザ都市として年間 2 回のメッセ開催に関する特権を得たことに遡る。デュッセルドルフ市では、1811 年に市庁舎に隣接する旧政権官房のホールで産業・貿易展示会が開催され、ナポレオンが訪問したのが始まりとされている。また、エッセンでも 1913 年から Ruhr Commercial Show という名称でメッセが開催されていた。

近代メッセ会場を使用して行われる形態は、1924 年に現在メッセ会場となっているケルン市ドイツ地区にハンス・フェアベーク設計によるメッセ会場が建設され、当時のケルン市長アデナウアーによって開館されたのを初めとして、1949 年デュッセルドルフ（メッセ・デュッセルドルフ社設立は 1947 年）、1978 年ドルトムント、1982 年エッセンで現在のメッセ会社による見本市運営が始まった。

現 状

AUMA（ドイツ産業展示・見本市委員会）発行の「2024/25 年のドイツ見本市経済展望」に掲載のヴュスト NRW 州首相インタビューによれば、同州はドイツ最大のメッセ中心地（国内で行われる国際的専門見本市の約 3 割が NRW 州内で開催）であり、デュッセルドルフ、ケルン、エッセン、ドルトムントの 4 見本市が約 80 万㎡の会場総面積に国内外から年間 55000 社の出展企業と 300 万人以上の来場者を集めている。周辺産業（ホテル・レストラン・小売業・メッセ関連業者）への経済波及効果が大きい見本市ビジネスの拡充は州政府の経済成長戦略の一つであり、また DX 化の主導的分野としても期待されている。

メッセ・デュッセルドルフは現在、デュッセルドルフ市 56.60%、土地管理会社デュッセルドルフ・ライスホルツ 20%、ノルトライン・ヴェストファーレン州 20%、デュッセルドルフ商工会議所 1.75%、デュッセルドルフ手工業会議所 1.75%の出資で運営されており、見本市運営会社としては世界トップ 10 以内の業績を誇る。**メッセ・デュッセルドルフ**で開催される専門見本市は約 50 件数を数え、毎年あるいは数年周期で開催されている。このうち約 20 の見本市は国際的・先導的見本市として注目されている。

AUMA によれば、世界的なコロナ禍となった 2020～2021 年はドイツの見本市業界全体で各年 65～70%の減益となった。**メッセ・デュッセルドルフ**ではグループ全体の 2021 年売上がコロナ禍前（2019 年：378 百万€）の約 3 割まで落ち込んだものの、2022 年以降に大幅回復し、2023 年に 383 百万€、2024 年には 363 百万€となった。2025 年は 10 月に「K 国際プラスチック・ゴム産業展」が開催され、また 2026 年のハイライトは 5 月開催の「interpack 国際加工・包装産業展」となっている。

メッセ・デュッセルドルフは 142 カ国をカバーする 77 の在外代表部を擁している。そのうち「Messe Düsseldorf Japan」を含む 7 社は直属の子会社として、各国内でも見本市を企画運営し、ドイツをはじめ欧州各国からの機械・設備や消費財の輸出促進に大きく寄与している。また、成長著しいアジア地域では、主要経済圏である中国・インド・日本の ASEAN・東南アジアに展開する 5 つの子会社をリージョナルハブ「Messe Düsseldorf for Asia (MDfA)」が統合して一元的なネットワークを構築している。

＜メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンの日本語公式サイト： www.messe-dus.co.jp>

2023 年に創設 100 周年を迎えた**ケルンメッセ**はケルン市 79.07%、ノルトライン・ヴェストファーレン州 19.99%、ケルン商工会議所 0.94%が出資して運営されている。ケルンメッセの見本市の種類は約 70

で、毎年あるいは数年の周期で開催されている。**ケルンメッセ**も世界中にネットワークを有し、世界 100 力国以上に子会社や在外代表部を設置している。日本法人のケルンメッセ株式会社は、欧州やアジア地域への進出を考えている中小企業、或いは商品ブランドを更に強化しようという企業の見本市への出展参加を斡旋している。

ケルンメッセはまた、ドイツ連邦経済・エネルギー省からの委託を受けて 2025 年大阪・関西万博（4 月 13 日～10 月 13 日）のドイツ・パビリオン組織運営を手掛けた。「循環型経済の共創」をテーマとした展示には、期間中 300 万人以上（9 割が日本国内からの来場者）が訪れた。

＜ケルンメッセ株式会社の日本語公式サイト： www.koelnmesse.jp>

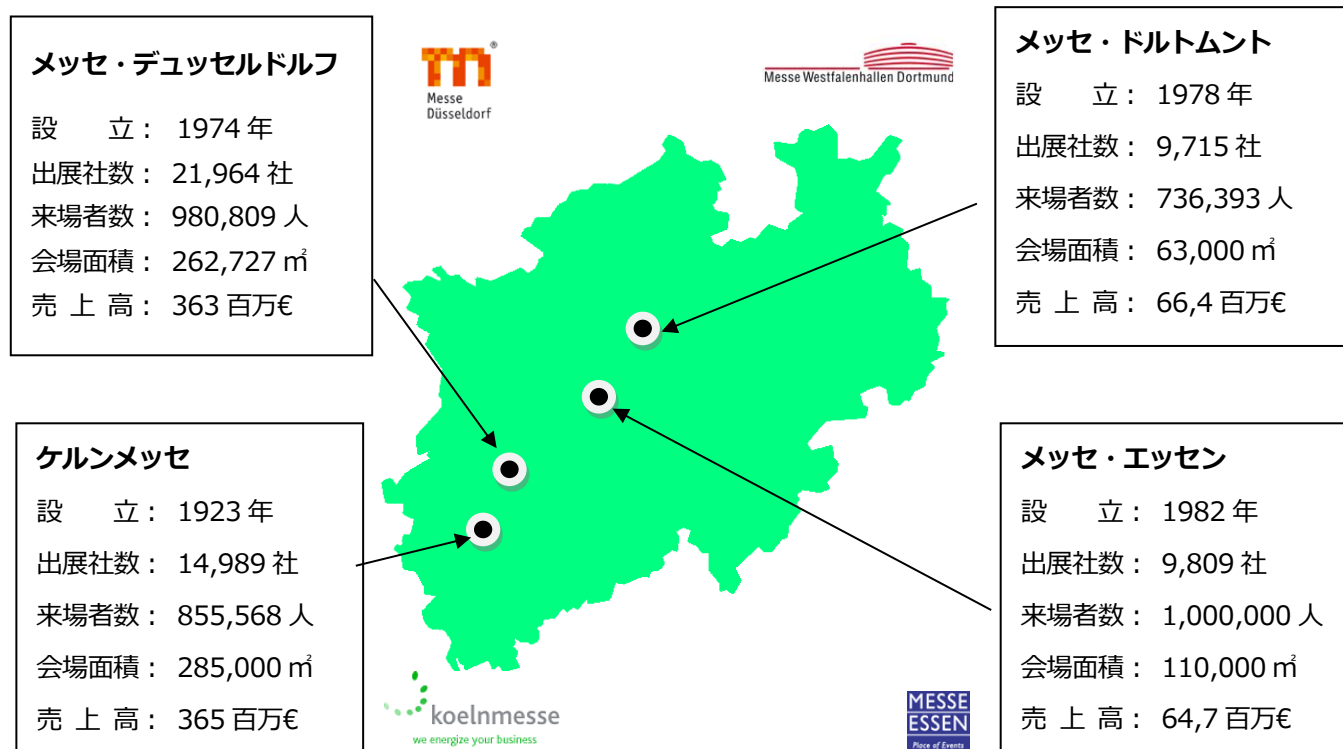
日独経済とメッセ

日本とドイツの見本市の違いは、日本では一般向けに商品を見せる場としての見本市が一般的である一方で、ドイツでは専門家向けの商談の場としての見本市が主流であることである。また、日本では、メッセ会社は会場を貸すことが中心であるが、ドイツではメッセ会社自ら見本市を運営することが多いことも大きな違いである。メッセのメリットは重要な商談・契約の場、交流促進・情報入手の場、企業のグローバル化の場となっていることである。また、同業他社、関連資材メーカー、バイヤーとの情報交換の場として活用されている。

日独経済関係におけるメッセの重要性としては、①日本の業界関係者がメッセツアーに参加して、世界の最新市場動向の把握、世界のトップメーカーとコンタクトの場として活用していること、②メッセへの出展により、ドイツ企業とのコンタクトをきっかけとして駐在員事務所開設に至るケースもあること、③日本においても業界関係者向けの専門見本市を開催することにより、商談の場としてのメッセの可能性が高まることが期待されることがあげられる。

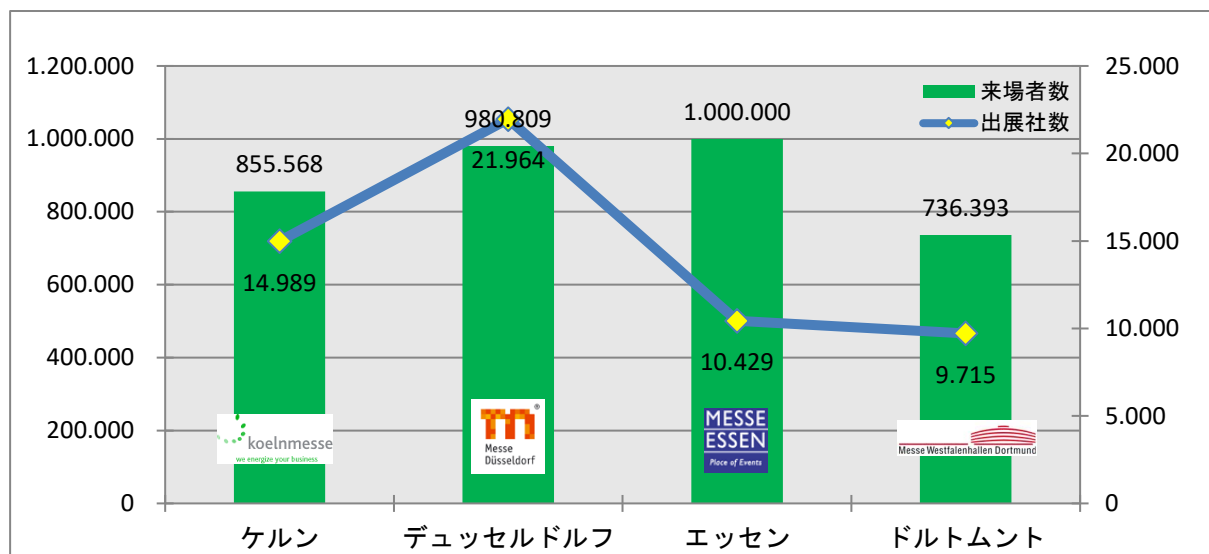
NRW州内の主要メッセ会場

※ 2024 年の実績（各社決算報告書を基に作成）



※この他にパートザルトツフレンに見本市会場があるが、NRW 州貿易投資振興公社の作成資料においても国際的見本市を開催する州内の見本市会場として上記 4 会場のみ取り上げていることから、本資料においては当該 4 会場に関して取り扱う。

出展社数および来場者数（2024 年）

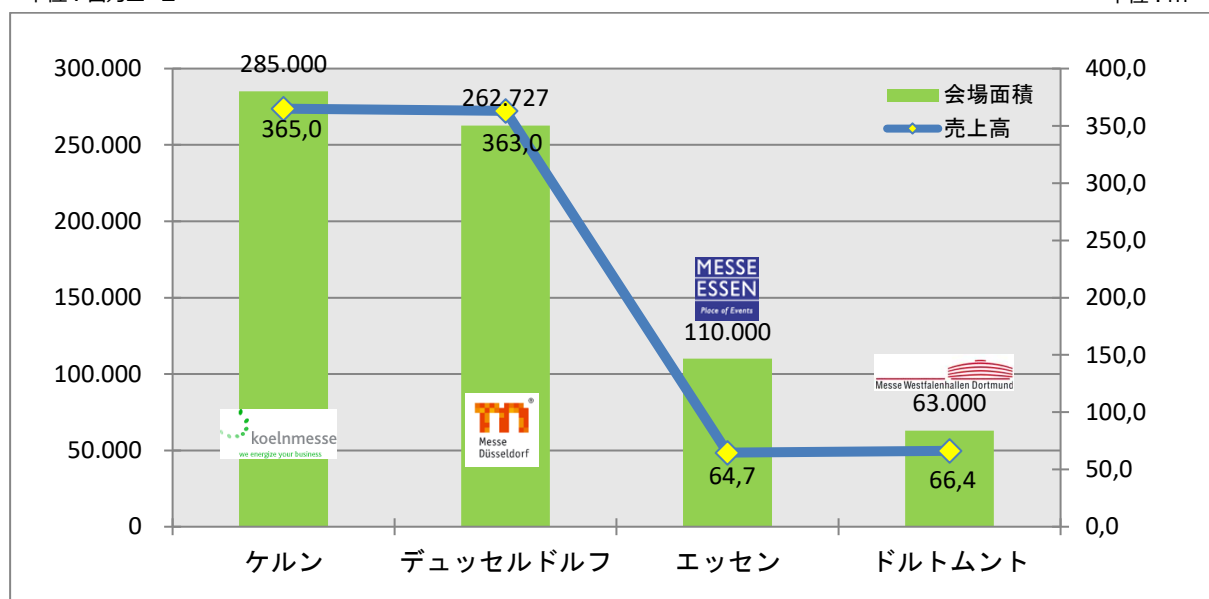


各社決算報告書を基に在デュッセルドルフ総領事館で作成

会場面積および売上高（2024 年）

単位：百万ユーロ

単位：㎡



各社決算報告書を基に在デュッセルドルフ総領事館で作成

(参 考)

ドイツのメッセの歴史は、1240 年 7 月 11 日に皇帝フリードリヒ 2 世がフランクフルト貿易見本市の際にフランクフルト市に貿易見本市都市として特権（欧州各地の諸侯がフランクフルトを訪問する際に通行税免除）を与えたことに始まる。第二次世界大戦後は 1947 年にハノーバーでメッセが再開され、1948 年にフランクフルト、1949 年にはデュッセルドルフで再開された。日本における見本市は、1956 年(社)東京見本市協会（現在の(株)東京ビッグサイト）の設立に始まる。また、国内 2 番目となる 1989 年に開業した千葉県の「幕張メッセ」はドイツ語のメッセが由来。



デュッセルドルフ 2025/26 年 主要メッセ・スケジュール

2025 年 10 月現在

2025 年

10 月 8 日～15 日	K	国際プラスチック・ゴム産業展
11 月 4 日～7 日	A+A	国際労働安全衛生展
11 月 17 日～20 日	MEDICA	国際医療機器展
11 月 17 日～20 日	COMPAMED	国際医療機器部品展

2026 年

1 月 17 日～25 日	boot	国際ボート・水上スポーツ展
2 月 22 日～26 日	EuroShop	国際店舗設備・販促機材展
3 月 15 日～17 日	ProWein	国際ワイン・スピリッツ飲料展
3 月 20 日～22 日	BEAUTY Düsseldorf	国際コスメ・ネイル・フットケア・ウェルネス展
3 月 21 日～22 日	TOP HAIR	国際理美容展
3 月 24 日～26 日	XPONENTIAL Europe	国際自動走行・無人システム展
4 月 13 日～17 日	Tube	国際管材製造加工・技術展
4 月 13 日～17 日	wire	国際ワイヤー産業展
5 月 7 日～13 日	interpack	国際加工・包装産業展
8 月 28 日～9 月 6 日	CARAVAN SALON	国際キャラバン・キャンピング展
9 月 23 日～26 日	REHACARE	国際リハビリテーション・福祉・介護機材展
10 月 20 日～23 日	glasstec	国際ガラス製造・加工機材展
11 月 16 日～19 日	MEDICA	国際医療機器展
11 月 16 日～19 日	COMPAMED	国際医療機器部品展
12 月 1 日～3 日	VALVE WORLD EXPO	国際バルブ技術会議・専門見本市

ケルン 2025/26 年 主要メッセ・スケジュール

2025 年 10 月現在

2025 年

10 月 4 日～8 日	ANUGA	国際食品見本市
11 月 6 日～9 日	ART COLOGNE	ケルン国際美術見本市
12 月 4 日～7 日	INTERMOT	国際オートバイ・スクーター専門見本市

2026 年

2 月 1 日～4 日	ISM	国際菓子見本市
2 月 1 日～4 日	ProSweets Cologne	国際菓子産業・資材メッセ
2 月 7 日～9 日	spoga horse	国際馬具専門見本市
3 月 20 日～22 日	h+h cologne	国際ホビー・手芸用品見本市
4 月 16 日～19 日	FIBO	国際フィットネス・ウェルネス・ヘルス見本市
6 月 22 日～24 日	spoga + gafa	国際ガーデン見本市
8 月 26 日～30 日	gamescom	国際ゲーム産業展
9 月（日時未定）	Kind + Jugend	国際ベビー・ヤング用品見本市
10 月 27 日～30 日	ORGATEC	国際オフィス家具設備見本市
11 月（日時未定）	ART COLOGNE	ケルン国際美術見本市
12 月 3 日～6 日	INTERMOT	国際オートバイ・スクーター専門見本市



エッセン 2025/26 年 主要メッセ・スケジュール

2025 年 10 月現在

2025 年

10 月 23 日～26 日	SPIEL	国際ゲーム玩具見本市
11 月 28 日～12 月 7 日	Essen Motor Show	エッセン・モーターショー

2026 年

1 月 27 日～30 日	IPM	国際園芸専門見本市
2 月 10 日～12 日	E-World energy & water	エネルギー関連産業国際見本市
2 月 25 日～3 月 1 日	Reise + Camping	国際トラベル・キャンプ見本市
3 月 18 日～24 日	Equitana	国際馬術見本市
5 月 5 日～8 日	METPACK	国際金属包装見本市



ドルトムント 2026 年 主要メッセ・スケジュール

2025 年 10 月現在

2026 年

1 月 10 日～11 日	INTERLOOK	国際眼科光学機器専門見本市
3 月 18 日～19 日	RECYCLING TECHNIK	リサイクル技術見本市
3 月 18 日～19 日	SOLIDS	顆粒・粉体・バルク固形物技術見本市
3 月 28 日～29 日	CAKE&BAKE	国際ケーキ・ベーカリー見本市